
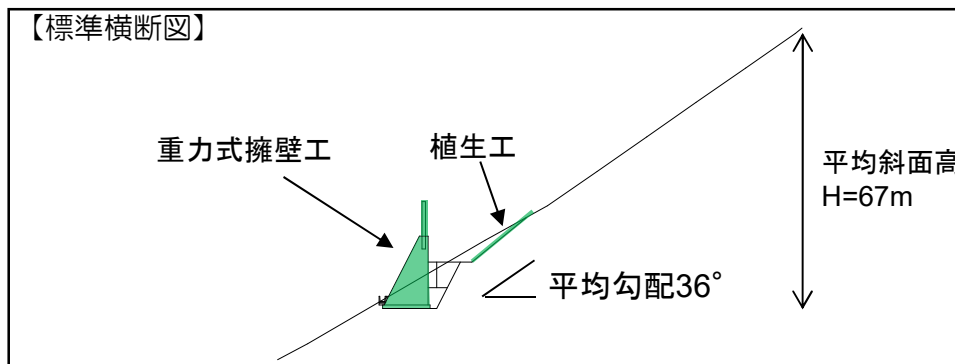
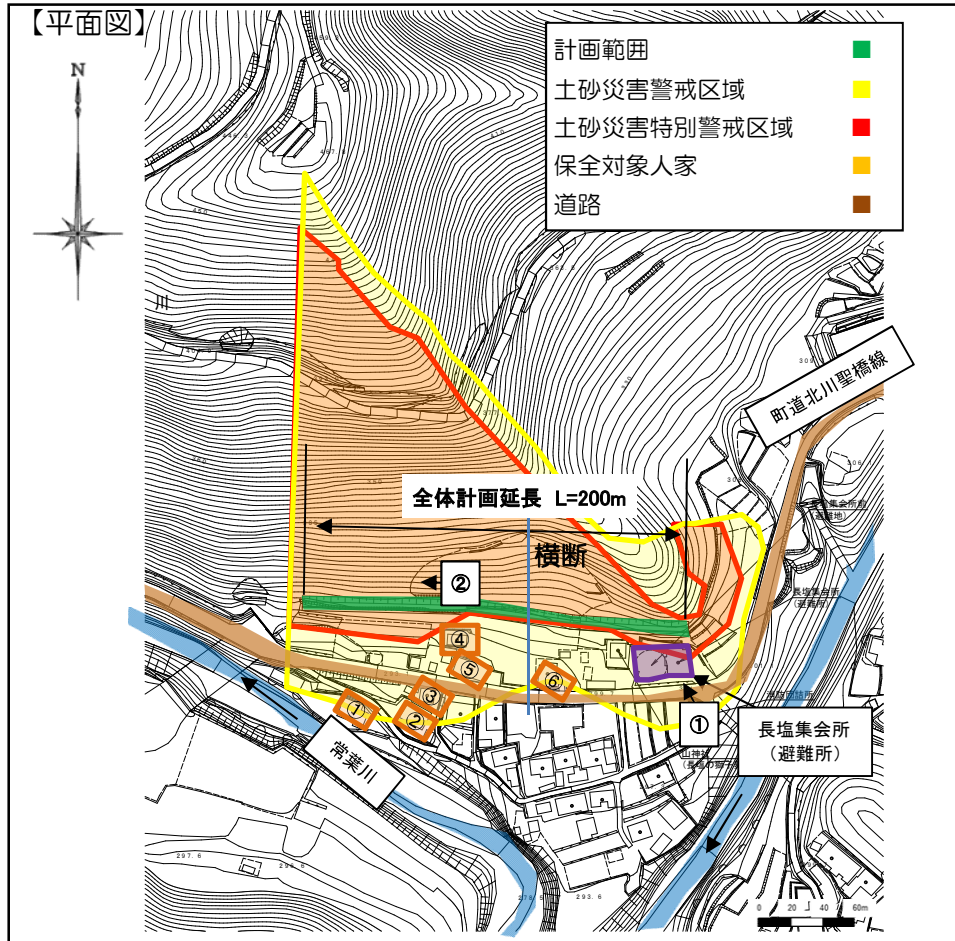


1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	南巨摩郡身延町北川地内	地区名	宮の前 (ミヤノマエ)	事業主体	山梨県																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 宮の前地区は、山梨県南部の身延町に位置する、一級河川常葉川右岸沿いの急傾斜地である。平成22年3月25日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は平均斜面高67m、平均勾配36度の急傾斜地で、保全対象には人家6戸、町地域防災計画で位置づけられた避難場所があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家6戸 &gt; 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有 長塩集会所 (町地域防災計画で位置づけられた避難場所) ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ー</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 ○ 妥当でない □ 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) ○ □ 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 ○ □</p> <table border="1" data-bbox="1220 502 2168 742"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R10</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>249 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">656 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>249 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">162 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害額</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">22 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">456 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.6</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 ○ □ 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 ○ □ 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 ○ □ 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 ○ □ 地元要望に基づいており、身延町から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	300 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3	経済効率性	費用	249 百万円	便益	656 百万円		建設費	249 百万円	一般資産被害	162 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害額	16 百万円				人的被害	22 百万円				その他※	456 百万円		B/C			2.6		
総事業費	300 百万円	工期	R4~R10	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	249 百万円	便益	656 百万円																																									
	建設費	249 百万円	一般資産被害	162 百万円																																									
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害額	16 百万円																																									
			人的被害	22 百万円																																									
			その他※	456 百万円																																									
B/C			2.6																																										
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 重力式擁壁工 L=200m、植生工 A=800m<sup>2</sup></p> <p>②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和10年度</p> <p>④総事業費 約300百万円 (国費142.5百万円(4.75/10)県費142.5百万円(4.75/10)、その他:15百万円(0.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="56 1117 851 1340"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>重力式擁壁工・植生工</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>重力式擁壁工・植生工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>重力式擁壁工・植生工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>重力式擁壁工・植生工</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>重力式擁壁工・植生工</td> <td>60 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 未整備</p>				令和4年度	地形測量、地質調査、詳細設計	15 百万円	令和5年度	用地測量・調査、用地取得・補償	15 百万円	令和6年度	重力式擁壁工・植生工	30 百万円	令和7年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円	令和8年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円	令和9年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円	令和10年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円	<p>総合評価 [貢献度ランク: a]</p> <p>(4) 事業位置図等</p> 																				
令和4年度	地形測量、地質調査、詳細設計	15 百万円																																											
令和5年度	用地測量・調査、用地取得・補償	15 百万円																																											
令和6年度	重力式擁壁工・植生工	30 百万円																																											
令和7年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円																																											
令和8年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円																																											
令和9年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円																																											
令和10年度	重力式擁壁工・植生工	60 百万円																																											

## 2. 添付資料シート



【写真①】 保全対象



【写真②】 斜面状況

